事業区分　　会員自主活動

活動タイトル　　ホンダクリオ富士㈱　富士山麓清掃活動

日　時：　　平成１８年６月２６日（月）９：３０－１２：００

場　所：　　静岡県富士宮市粟倉　国道 469 号線沿道（下図参照）

参加人数：　　２０人（富士山クラブ職員２名がアドバイザー参加）

活動概要：　富士山クラブ団体会員であるホンダクリオ富士㈱は、毎年定期的に自社独自の富士山麓清掃活動を実施している。今回の清掃活動の特徴は、今までは社員のみの活動であったが、今回はホンダクリオ富士㈱の顧客が９名参加したことである。

同社では地域の方々に広く富士山の環境保全活動を広報・定着することを目指していおり、今回同社の顧客の皆さんに清掃活動参加について声掛けをしたところ、９名の参加があった。

活動当日はあいにくの雨となり、参加者のみなさんはレインコートを着用して国道沿いに散在する空き缶、ペットボトル、雑誌、弁当空を拾い集めた。参加者のみなさんは、ポイ捨てごみの多さに驚きと怒りの声を上げていた。

活動成果：　レインコートの中で汗が流れ落ちる２時間半の大変厳しい活動で、
２トントラック１台分（約３００kg）の不法投棄ごみを回収した。
なお、この活動の様子は、地元紙「岳南朝日」に掲載された。

不法投棄防止啓発へ決意新たに

クリオ富士・富士山クラブ

雨の中20人が汗流す

富士市天間に本社を置く㈱ホンダクリオ富士（前嶋一及代表取締役会長、前嶋丈浩代表取締役社長）が独自に立ち上げている「クリオ富士・富士山クラブ」は二十六日、富士宮市粟倉および村山から国道469号線に通じる林道で清掃活動を展開した。雨に見舞われながらも、レインコートに身を包んだ社員らは「皆で富士山をきれいにしよう」という意気込みで活動に汗を流し、不法投棄防止啓発への決意を新たにしていた＝写真。

同社各店舗が通常営業のため、参加者は本社および各店から社員五人と来年度入社内定者四人、NPO法人富士山クラブスタッフ二人だったが、同社の清掃活動に賛同した顧客九人も加わり、合計二十人となった。

降り続ける雨のため地面は滑り、レインコートの中で汗が流れ落ちる過酷な状況の中、参加者たちはあちこちに不法投棄されたごみと格闘。雑誌や空弁当、ビニール、ペットボトルなどの可燃物、空き缶、空きビン、瀬戸物などの不燃物は、合わせて二トントラック一台分にもなった。

参加者たちは、「わずかな時間でもこんなにたくさんのごみが出るとは」と、驚きと共に憤りを隠せないでいた。

雨が一層激しくなったため活動を切り上げ、手作りほうとうを囲んで身体を温めながら親睦（しんぼく）。総責任者の前田正和常務取締役が活動にお礼を述べると、参加者たちは次回活動への意欲を見せるとともに、「絶対にポイ捨てはいけない」と、啓発への決意を新たにしていた。

◇

同社は富士山の自然環境を守るために活動するNPO法人富士山クラブに賛同し、法人として加盟。その上で独自のクラブも立ち上げ積極的に富士山の環境保全に努めている。同活動を始めてから二年が経過した。

主催者・共催団体：ホンダクリオ富士㈱

協賛団体：なし

成果物：なし

活動写真：添付あり

ホンダクリオ富士㈱清掃活動写真

降りしきる雨の中、一生懸命に清掃活動をする参加者のみなさん。

大量のパチンコ玉が出てきた。

トラックへごみの積み込み。